

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立上狛小学校 】

1 実践テーマ	【 I・III 】
2 実施対象者	上狛小学校 4年生（37名） 6年生（42名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 教科名（総合的な学習の時間）
4 目標 （ねらい）	（1）パラリンピックで行われる競技を体験することで障害者スポーツへの興味・関心を育む。 （2）障害のある人とともに活動することで、障害のある人たちへの理解を深め、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会をつくるためにできることを考える。
5 取組内容	<p>（1）事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ①パラリンピックについて調べる。 ②パラリンピック種目について知る。 ③ボッチャの試合形式やルールについて知る。 <p>（2）ボッチャ体験学習 <令和元年12月12日（木）> 講師：一般社団法人 日本ボッチャ協会理事 大阪府立大学 講師 片岡 正教氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボッチャについてのお話 （ボッチャの歴史やルールなどについて） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>②ボッチャ体験（グループに分かれて対戦）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

	<p>(3) 事後学習 ① ボッチャをやってみて感じたことや考えたことを話し合う。 ② 感じたことなどを感想にまとめる。</p> <p>(4) オリンピック・パラリンピック掲示板 オリンピック・パラリンピックの歴史、資料・種目や写真等を掲示する。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) ボッチャについて調べたり、実際にやってみたりすることで、競技を身近に感じることができた。</p> <p>(2) 異年齢集団で取り組むことで他学年のメンバー同士が互いのことを考えながら競技を行うことができ、一人一人が大切にされすべての子が活躍できる場ももてた。</p> <p>(3) ボッチャ体験学習の振り返りをとおして、ボッチャを学校で広め、他の学年でも交流することができた。</p> <p>(4) 教職員全体で研修を行うなどして理解を深め、事前学習、事後学習についても計画的に進めることができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) ボッチャのチームに来校していただくことはできなかったが、事前学習においてパラリンピックで競技をしている人たちの姿を思い描けるよう、競技の様子画像を数多く提示するようにした。</p> <p>(2) 他の事業と連携させて、パラリンピックの意義や障害者理解を深めること取組を継続させた。</p> <p>(3) 掲示板を作成するなどして、オリンピック・パラリンピックの歴史や体験の様子など児童・保護者・地域の方などへ啓発することができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>(1) 本年度は、内容の検討や指導者等との調整に時間を要してしまい、開催時期が遅くなった。来年度以降は、適切な開催時期に計画的に実施できるようにする。</p> <p>(2) パラリンピックに向けて、保護者や地域に向けて幅広く呼びかけることで、普及につながる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 来年度も、ボッチャを学校で広め、パラリンピックについての理解学習を進める予定である。</p> <p>(2) 可能なら、他校の児童等とボッチャを通して交流したい。</p> <p>(3) 他の事業と関連させながら、取組を継続させていきたい。</p>